

ソーシャルアクションスクール 趣意書

平成19年9月

ソーシャルアクションスクール宣言

ソーシャルアクションスクールの参加者は、以下に示す基本理念（「ソーシャルアクションスクール宣言」）の趣旨に賛同し、日々の行動を行う。職業・年齢・性別は一切不問。

（1）スクール全体の理念

- 次代を担う人材を育成し、持続的に輩出する。そのために、様々な価値観を有し具体的な行動を行う参加者それぞれが、意識と行動の改革及び自己研鑽・全国的なネットワークづくりやリアルな情報交換をすることのできる、「場」を提供する。
- この「場」を持続的に提供し、具体的に足もとから改革運動を起こしていくことができる人材を、日本全体や地域に増加させていく。これを通じて、活力ある日本、活力ある地域、ひいては日本に住む一人ひとりが幸せを享受していけるような社会を創造していくことに貢献する。

（2）各々の参加者がなすこと

- 社会に対する、強い責任感と当事者意識を持つ
- 自ら「改革請負人」となる
 - 自ら一歩踏み出す勇気をもって「とにかく何かやってみる」人間となり、参加して気づいたことを翌日から実践する。自らの持ち場、持ち場で、関係者と共に汗をかき（＝共汗力）、リアルを変革していく。
- 「5つの『せ』」を身につけた人間となる
 - 「5つの『せ』」＝専門性、説明力、戦略性、センス（風を感じる力）、正義（志）。
- 他者依存から脱却して自らの足で立つ
 - 自分の強み、弱みに気付く。自己への厳しさを追求する。
- 他者に対して極めて寛容であるとともに、他者に対する関心を常に持ち続ける
- 同じ志をもつ仲間が全国にいるという意識を持つ

以上